

令和6年議会報告会報告書

令和6年8月19日

広報広聴委員会

I. 開催方針の検討

市民の皆様との対面による市議会報告会は、コロナウイルス感染症の影響により、令和元年度の開催を最後に、動画等による開催を行ってきたが、昨年度は対面による報告会を実施することができた。

そこで、広報広聴委員会は、議会活動報告の責務を果たすことを目的として、さらに昨今の若年層の政治離れが憂慮されている状況を鑑み、若年層の皆様は大田原市議会の一端に触れていただくことにより、市政に関心を持っていただくと同時に、若者ならではのご意見を拝聴するため、大田原市議会報告会実施要綱を順守しつつ、高校生を対象とした議会報告会の開催を決定した。

II. 具体的決定事項（令和6年議会報告会実施概要）

1. 開催方針

- (1) 根拠 実施要綱（令和元年11月1日改正）に準拠
- (2) 班編成 「常任委員会」ごとの3班編成及び書記等の支援体制
- (3) 参加者 黒羽高等学校、大田原高等学校、大田原女子高等学校
(各校15人程度を目標)

2. 概要

- (1) 実施時期 令和6年7月17日（水）、7月24日（水）、7月25日（木）
- (2) 実施会場 庁舎7階フロア
- (3) 実施内容（全体90分）
 - ①議会報告（常任委員会毎の説明）
資料(10分程度) 広報広聴委員会において統一資料を作成
 - ②議場見学
 - ③意見交換会（60分程度）

3. 常任委員会における準備事項

- (1) 各校との調整
- (2) 役割分担の確認（サポート体制を含む）

4. 今後のスケジュール

- (1) 常任委員会毎に事前打ち合わせを実施
- (2) 市民への周知
(広報おたわら、議会HP、議会FB)

III. 開催結果（日時・場所・参加人数及び担当班）

1. 日時・場所・参加人数

開催日	場所	担当班	参加人数
7月17日（水） 14時10分～15時40分	本庁舎7階 議会フロア	1班	黒羽高校 高校生15人、随員2人
7月24日（水） 15時00分～16時30分		2班	大田原高校 高校生18人、随員2人
7月25日（木） 15時00分～16時30分		3班	大田原女子高校 高校生10人、随員2人
合計			高校生43人

2. 担当班

班	担当議員	
1班	委員会	総務常任委員会（意見交換グループ数2）
	委員	<small>委員長</small> 高瀬 重嗣、 <small>副委員長</small> 大豆生田 春美、深澤 正夫、齋藤 藤男、 藤田 善幸、小野寺 尚武、菊池 久光
	支援議員	大塚 正義、櫻井 潤一郎、伊賀 純、前田 則隆、 北原 裕子、津守 那音、中川 雅之
2班	委員会	民生文教常任委員会（意見交換グループ数2）
	委員	<small>委員長</small> 大塚 正義、 <small>副委員長</small> 櫻井 潤一郎、伊賀 純、前田 則隆、 北原 裕子、津守 那音、中川 雅之
	支援議員	滝田 一郎、君島 孝明、内藤 幹夫、岡野 忠、秋山 幸子、 前野 良三、引地 達雄
3班	委員会	建設産業常任委員会（意見交換グループ数2）
	委員	<small>委員長</small> 滝田 一郎、 <small>副委員長</small> 君島 孝明、内藤 幹夫、岡野 忠、秋山 幸子、 前野 良三、引地 達雄
	支援議員	高瀬 重嗣、大豆生田 春美、深澤 正夫、齋藤 藤男、 藤田 善幸（欠席）、小野寺 尚武、菊池 久光

IV. 次第（全体：90分）

1. 開会及び進行（各常任委員会副委員長）
2. 開会挨拶（菊池議長）
3. 議会報告（各常任委員会委員長）
4. 議場見学
5. 自由意見交換会（60分程度）ブレインストーミング
6. 閉会挨拶（中川副議長）
7. 解散（各常任委員会副委員長）

V. 意見交換会の内容

詳細な内容は、別紙各班の報告書をご参照ください。

VI. 評価及び所感

高校生を対象に実施したことは初めての試みであったが、大田原市議会のみならず地方議会全般の概要を説明することができ、参加者の理解が進んだと考える。また、当初の目的である「若年層の政治への関心」が、深まったとも推察できる。一人でも多くの参加者が市政への理解が深まり、将来パパやママとして大田原市で子育てをして本市で活躍していただけることを期待する。

議会報告では、市議会議員の役割、議会運営の仕組みや市民の声が市政に反映されるまでの流れなどを理解していただき、議場見学では、執行部席や議員席に座ったり、議

場マイクを通して議員や市長の発言を体験してもらった。また、電子採決を体験したことにより、議場の雰囲気を感じてもらえたのではないかと思う。

意見交換では、ブレインストーミング（集団発想法）を取り入れ、「高校生が考えるまちづくり」をテーマに自由に意見を出しあったが、ファシリテーター役の議員が、意見の出しやすい雰囲気を作り、また議員との対話などを通して、より活発な意見交換ができたと考える。

今回の参加者は3校で43名であり、グループ討議には適切な人員であった。

高校生の活発で若者ならではの意見交換ができたことは、評価に値する。また、自分たちが住んでいる地域の現状や課題を分析し、積極的に意見を発表している姿を目の当たりにし、将来のまちづくりに対する関心の高さが窺えた。

今後も内容のブラッシュアップを行い、期待値の高い報告会を開催しなければならない。その目標に向けて議会報告会の活発な広報等を行い、市議会議員全員の真摯な意見及び熱意と、多くの市民の意見を融合させる取組が求められる。

次年度も、今回の高校生を対象とした議会報告会をもとに、開かれた議会として活発な報告会を開催し、さらに市民に寄り添った市議会になることを期待したい。

以 上

令和6年8月8日

報 告 書

大田原市議会広報広聴委員会委員長 滝田 一郎 様

大田原市議会 第1班班長 高瀬 重嗣

大田原市議会報告会実施要綱第9条第1項の規定により、下記のとおり報告いたします。

記

1. 日 時 令和6年7月17日(水) 午後2時10分～3時40分

2. 会 場 大田原市役所7階 議会フロア

3. 担当議員と役割

【担当議員】

高瀬 重嗣 (議会報告当)

大豆生田 春美 (司会)

深澤 正夫 (意見交換B)

齋藤 藤男 (意見交換B)

藤田 善幸 (意見交換A)

小野寺 尚武 (意見交換A)

菊池 久光 (意見交換AB)

【支援議員】

大塚 正義 (受付)

櫻井 潤一郎 (案内、書記A)

伊賀 純 (受付、書記B)

前田 則隆 (受付、写真撮影A)

北原 裕子 (案内、書記B)

津守 那音 (受付、書記A)

中川 雅之 (写真撮影B)

4. 参加者 黒羽高等学校高校生 生徒15人

5. 意見交換会の内容

テーマ：高校生が考えるまちづくり ～若者が住み続けたいまちにするためには～

A班

- (1) 学校環境の整備
 - ・学校にアイスの自販機が欲しい
 - ・トイレの洋式化
- (2) 交通機関の充実
 - ・子供がいる人優先のフードコート
 - ・子供たちが遊べる公園等を増やす
 - ・子供たちの親が交流できる場所
 - ・駄菓子屋が欲しい
 - ・イベント開催時の足の確保ができていない
- (3) 交通機関の充実、安全の確保
 - ・通学バスの増便
 - ・横断歩道への信号の設置
 - ・街灯を増やす
 - ・道路の拡幅
- (4) 住宅関係
 - ・太陽光パネルの設置など住宅補助
 - ・空き家の有効活用
 - ・学生同士で教えあえる広めの学習スペース
- (5) 若者が住みやすく楽しめる環境
 - ・大学や専門学校を増やして学べる幅を広げる
 - ・アニメイト等趣味の店舗やラウンドワン等娯楽施設の誘致
 - ・ショッピングモールの誘致
 - ・大田原市の特徴を生かしたテーマパークの建設

B班

- (1) 公共施設のトイレの洋式化
- (2) 通学路の安全確保のため街灯の設置や道路の拡幅
- (3) 市長や大田原ふるさと大使がもっと大田原市を発信していくこと
- (4) 地産地消などPRするイベントを増やす
- (5) ごみの分別をわかりやすくする
- (6) 防災の意識を向上させ、災害に強い街づくりを
- (7) 安全なバス停の整備やバスの増便
- (8) 学生が就職できる会社を増やす

(9) アミューズメント施設の誘致

◎地域に住んでいる自分たち（高校生）が先頭に立って行動していくことが必要

6. 議会報告会の所感等

- (1) 高校生から活発な、しがらみにとらわれない意見をいただいた。実現可能かどうかはともかく、普段は意見を徴収しづらい世代、地域（市街在住、黒羽高校生も参加いただけ）の意見は貴重であった。
- (2) 集団で勉強できるスペースへの要望が多かった。現在市内にある自習スペースは個人での学習が前提となるので、検討する必要があるだろう。

市議会の概要説明



議場見学



意見交換



グループ代表者の発表



令和6年8月8日

報 告 書

大田原市議会広報広聴委員会委員長 滝田 一郎 様

大田原市議会 第2班班長 大塚 正義

大田原市議会報告会実施要綱第9条第1項の規定により、下記のとおり報告いたします。

記

1. 日 時 令和6年7月24日（水） 午後3時～4時30分

2. 会 場 大田原市役所7階 議会フロア

3. 担当議員と役割

【担当議員】

大塚 正義（議会報告）
櫻井 潤一郎（司会、意見交換A）
伊賀 純（意見交換B）
前田 則隆（議場案内）
北原 裕子（意見交換B）
津守 那音（意見交換A）
中川 雅之（議場案内）

【支援議員】

滝田 一郎（受付）
君島 孝明（写真撮影）
内藤 幹夫（案内、書記A）
岡野 忠（案内、書記B）
秋山 幸子（案内、写真撮影）
前野 良三（受付、書記A）
引地 達雄（受付、書記B）

4. 参加者 大田原高等学校 生徒18人

5. 意見交換会の内容

テーマ：高校生が考えるまちづくり ～若者が住み続けたいまちにするためには～

A班

(1) 交通網関係について

- ・バス停の増設
- ・市街地にも電車を通す
野崎駅と西那須野駅があるが、オープンキャンパスがあり駅を利用したが、駅まで遠く大変であった。大田原の市街地に駅があれば通学もしやすく人も集まってくる。
- ・ポッポ通りの整備
通学路で使っているが、自転車で通行する際に舗装が悪くガタガタしている。歩行者と自転車が分かれているが、歩行者が自転車側を歩行して危険であるため、もっと分かりやすく看板を表示してほしい。
- ・公共交通機関の整備

(2) 高校の環境整備について

- ・体育館にエアコン設置
年々暑くなっており、熱がこもった中で部活動をするのは危険である。エアコンがあればより部活動にも励むことができ、イベント等にも利用できる。
- ・大高の校庭にライト設置
サッカー部で夜の練習が暗く、冬場は特に暗くボールが見えない状態である。安全面も踏まえ設置することを希望する。

(3) 空き家対策について

- ・老朽化した家の改善
昔からある住宅地を改善してほしい。具体的には野崎駅周辺など。
- ・空き家の減少
放置され景観が悪くなる。外国の方との交流においても、景観が悪ければもう一度来ることはなくなる。維持管理の草刈り等の費用もかかる。

(4) その他

- ・実際の海の疑似体験施設
栃木県は海無し県で海まで遠い。近くに海が体験できるビーチを模した施設があれば皆楽しいし外国の方が来ても楽しめる施設になると思う。
- ・公衆ごみ箱を設置する
町なかを歩いている時にごみを捨てたくても捨てることができないし、ごみが落ちていて街が汚く感じる。簡単であるし、ごみ箱を設置すれば皆さんごみ箱に捨ててもらえると思う。
- ・バナナ農園を作る

自分はバナナが好き。先日、マレーシアに行ってきたが、日本と同じ暑さと感じ日本でも作れると思った。バナナに限らずフルーツ全般において大田原市が率先して特産品等を新たに開発することが良いと思った。

- ・大田原独自の魅力がほしい
大田原市はとうがらしのまちといっているが、観光客や住むにはインパクト弱い。新たな魅力がほしい。例えば俳句や松尾芭蕉など。
- ・市役所を土日も開けてほしい
親との会話の中で、マイナンバーカードの更新やパスワードの再設定等のために平日に時間を割いて市役所に行かなくてはならないのは不便と思い、月に一度など土日に市役所を開ければ利用者の利便性の向上につながると思った。
- ・外国の方との交流を増やす
SSHの課題研究を行っている。グローバルなまちにしたい。
- ・特定の活動を支援する
若者支援をしたい。美大や芸大の説明会で山形県にある東北芸術工科大学では、街全体が大学のキャンパスで、まち全体で芸術活動をバックアップしている。ある一定の支援があれば、時間はかかるが人が集まってきて活気づくのではと思った。

B班

(1) 交通網関係について

- ・大田原市内のバスの本数が少ないので増やしてほしい。
- ・車道、歩道の段差があり危険（バイク、自転車で転倒しかけた）。
- ・狭い道路を広くしてほしい。
- ・信号機のない危険な交差点に信号機を付けてほしい。
- ・信号機のない横断歩道で車が止まってくれるよう、何らかの対応をしてほしい。
- ・ポップ通りの危険な箇所の整備（段差、コケで滑る）をしてほしい。
- ・歩道が無いところに歩道の設置（道路拡幅）をしてほしい。
- ・交通網全体の整備。

(2) 高校や大学について

- ・県南と県北地区の高校の数を同じくらいにしてほしい（高校の選択肢が少ない）。
- ・県内に国公立大学が1校しかなく、県外に進学してしまう生徒が多いので、県北地区に国公立大学を作ってほしい。
- ・大学生への経済面での支援。

(3) 公共施設について

- ・市の武道館を立て替えてほしい。
- ・図書館にWi-Fiを設置してほしい。
- ・図書館の席が少ないので増やしてほしい。
- ・図書館の数を増やすか、大きな図書館を作ってほしい。

(4) 娯楽関係について

- ・春は「屋台祭り」、夏は「与一まつり」があるが、秋、冬時期の大きなイベントが無いので何か開催してほしい。
- ・与一くんはゆるキャラの中でも知名度が高いので、与一くんのテーマパークを作り人をもっと大田原に呼び寄せる。
- ・日本の伝統文化にもっと触れ合い学べる環境を作してほしい。

(5) その他

- ・電車の駅をもうひとつ中心地にほしい。
- ・給料を上げて教職員の数を増やしてほしい。
- ・英語（外国語）を話せる機会の環境を整える。
- ・研究機関や先端技術企業の誘致。
- ・大田原高校の共学化。

市議会の概要説明



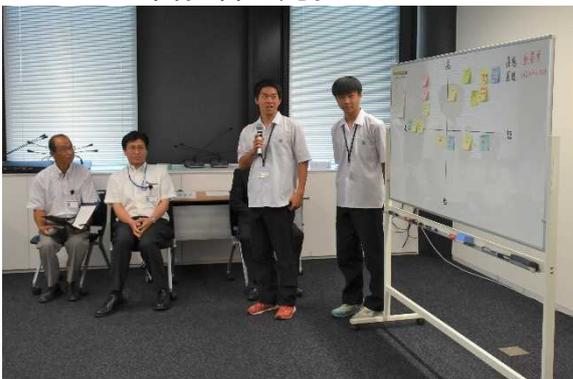
議場見学



意見交換



グループ代表者の発表



令和6年8月8日

報 告 書

大田原市議会広報広聴委員会委員長 滝田 一郎 様

大田原市議会 第3班班長 滝田 一郎

大田原市議会報告会実施要綱第9条第1項の規定により、下記のとおり報告いたします。

記

1. 日 時 令和6年7月25日(水) 午後3時～4時30分

2. 会 場 大田原市役所7階 議会フロア

3. 担当議員と役割

【担当議員】

滝田 一郎 (議会報告、意見交換B)
君島 孝明 (司会、議場案内、意見交換A)
内藤 幹夫 (PC操作、意見交換B)
岡野 忠 (意見交換A)
秋山 幸子 (意見交換B)
前野 良三 (意見交換A)
引地 達雄 (意見交換B)

【支援議員】

高瀬 重嗣 (受付、書記A)
大豆生田 春美 (案内、書記B)
深澤 正夫 (受付、書記A)
齋藤 藤男 (受付、書記B)
藤田 善幸【欠席】
小野寺 尚武 (案内7階)
菊池 久光 (写真撮影AB)

4. 参加者 大田原女子高等学校 生徒10人

5. 意見交換会の内容

テーマ：高校生が考えるまちづくり ～若者が住み続けたいまちにするためには～

A班

- ・バスを増便してほしい。
- ・トコトコ大田原にもっと学習スペースがほしい。
- ・高校生同士の自習、交流スペースがほしい。
参考：アクティブラーニングを実践してきた世代は自習室というよりはむしろ互いに教えあう空間を必要としている：引率教諭談
- ・若者が好きなものを買える場所がほしい。
- ・教室、部室等への漏れのないエアコン設置
- ・子供をもっと増やすための子育てしやすい環境の整備
- ・より安全に配慮した通学路の整備
- ・小中学校のトイレの洋式化

B班

- ・バス、電車など交通機関を増やしてほしい。
家の前をバスが通らないし、電車でも次の時間までが長い。
- ・若年層の娯楽施設を増やしてほしい。
遊びで出かけるのに、東京や宇都宮に行く。近くにあればコスパがいいし、大田原に残りたいとも思う。ラウンドワンやプリクラ、映画館など一つの場所に揃っているといいと思う。あちこちに散らばっているので、移動に時間がかかる。
- ・バスの本数を増やしてほしい（自動運転バスの検討）。
運転手の不足に対応ができる。また、雨の日など長蛇の列になるし、バスの中が混雑しているため、気分が悪くなることも考えられる。
- ・児童手当の受け取りを15歳までではなく、高校卒業するまでにしてほしい。
15歳になった時点でぷつんと切られてしまう。卒業するまでならとても助かる。
- ・大田原がもっと活気があればいい。
イベントを増やし、例えば西那須野のふれあい祭りに行ったが、とても活気があった。若者が集まるようになると活気が出てくる。
- ・大田原の特産物のアピールをもっとした方がいい。
何が特産ですかと聞かれても答えられない。地域おこしができる。唐辛子が特産と聞いたが、激辛大会などイベントができれば人が集まると思う。
- ・観光が盛んになるといいと思う。
黒羽は伝統があるが、今過疎化が進んでいる。芭蕉の里としてしっかりやっていたら、そういうところに人が集まるし、大田原の良さを分かってもらえると思う。
- ・市内に外国人が増えている。英語の表記を増やしたらいいのではないかな。住みやすくなる。

- ・道路が凸凹しているため、バスに乗っていてもガタンガタンとすごい振動が伝わる。
場所：デニーズ付近
- ・公民館で勉強ができればいいと思う。
自宅又は学校の近くで静かに勉強ができる場所があればいいと思う。
- ・学校で障がい者への理解を深める行事を行ってほしい。
手話大会や車いすの疑似体験をしたがとても良かった。

市議会の概要説明



議場見学



意見交換



グループ代表者の発表

